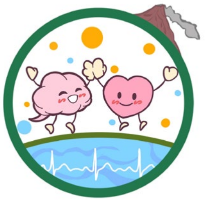
鹿児島県

上室性不整脈・心房細動



上室性不整脈とは？

心臓の上の部屋（心房）で起こる不整脈を「上室性不整脈」といいます。
主に以下の2つがよくあるタイプです

① **発作性上室性頻拍（PSVT）**

② **心房細動（AF）**

心機能が正常の人には出現しても死に至ることは少なく、良性の不整脈として扱われます。

① 発作性上室性頻拍（PSVT）

急に脈が速くなり、しばらくして自然に戻る不整脈です。

房室回帰性頻拍（WPW症候群）・房室結節理エントリー性頻拍・心房頻拍などがあります。（厳密にいうと、心房細動もPSVTの一つですが、発生機序が全く違うため、別に下記に記します。）

脈が1分間に150回以上になることもあります。規則的な頻脈です。

症状：動悸、息切れ、胸の違和感 など

② 心房細動（AF）

心房が小刻みに震えて、脈がバラバラになる不整脈です。

脈が早くなることが多い不整脈ですが、遅い方もいらっしゃいます。

年齢とともに患者数が増加し、脳梗塞の原因にもなります。

症状：動悸、疲れやすさ、めまい など（無症状のこともあり）

正常な脈拍

発作性上室頻拍（PSVT）

心房細動（AF）

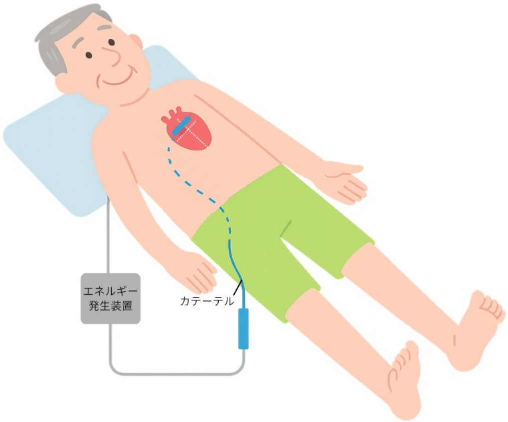
検査

・心電図検査 ▶ 脈のリズムを記録します
・ホルター心電 ▶ 24時間の脈の変化を記録します
・心エコー検査 ▶ 心臓の動きや形をチェックします

治療について

①発作性上室性頻拍

・発作が短時間なら安静で自然に治まることもあります。
・息をこらえることで止まることもあります。
・薬で発作を止めたり予防したりします
・再発を繰り返す場合はカテーテルアブレーションという治療で根治が望めます



②心房細動

・心拍を整える薬や、年齢・基礎疾患により抗凝固薬（血栓予防）を使います
・症状が強いときや薬でコントロールできないときは、アブレーション治療を行います

生活で気をつけること

・ストレスをためない
・アルコールやカフェインを控える
・十分な睡眠をとる
・血圧や血糖値をコントロールする

まとめ

上室性不整脈は適切な検査と治療でコントロールできます。
不安なときは、循環器内科にご相談ください。

脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび脳卒中・心臓病等相談支援窓口では脳卒中や心臓病についてのお悩みの相談に乗っています。お気軽にお越しいただくか、メール、電話などでお問い合わせいただけましたら幸いです。
e-mail: sc-shien@kufm.kagoshima-u.ac.jp　電話番号：099-275-6895